

一般社団法人 日本動機づけ面接協会 (JAMI) 第10回年次大会&ワークショップのご案内

日本動機づけ面接協会 (JAMI) 第10回大会

大会長 原井宏明 (原井クリニック)

2022年3月12日(土) 3月13日(日)

2日間 14:00~17:00

オンライン開催

社団法人日本動機づけ面接協会
(JAMI) とは

「動機づけ面接 (MI)」の考え方を普及させ、実際に活用できる力のある専門家を増やすことによって、人々の健康増進や福祉、健康科学の進歩に寄与することを目指して2012年に設立された。グローバルな情報とともに、現場に即した正確で適切な情報をホームページなどで提供している。

会場

オンライン (ZOOM)開催

(自宅や職場PCなどから参加可能)

申込

日本動機づけ面接協会 (JAMI) HPにて、申込受付中です。
定員数に達し次第、申込受付終了となります。

1日目 14~17時

・大会長挨拶

・一般演題

・講演 中野有紀子 成蹊大学理工学部
「社会的信号処理に基づくコミュニケーション支援」

2日目 14~17時

・特別講演 坂上貴之 慶應義塾大学文学部
日本心理学会理事長

「行動分析学への招待」

・シンポジウム 「動機づけ面接と言語行動分析」
奥田健次 学校法人西軽井沢学園
坂上貴之 慶應義塾大学文学部
原井宏明 原井クリニック

・なお、演者や内容が一部変更になる場合もありますが、
予めご承知おきください。

一般演題を募集します。詳細はHPを御確認ください。



参加にあたっての注意事項：
今回は年次大会及びワークショップとともに、オンライン開催となるため、参加の「注意事項」をWEB上で事前に御確認の上、お申込みをお願いいたします。

海外招聘講師ワークショップ： 動機づけ面接の成果を高めるセラピストのスキルとは？ (通訳つき)

2022年3月12日(土) 3月13日(日)
2日間 9:00~12:00
オンライン開催



テレサ・B・モイヤーズ博士（ニューメキシコ大学心理学教授、臨床心理士）

・このワークショップの目的は？

このワークショップでは、動機づけ面接を含む多くの種類の治療において、より良い結果に関連するセラピストの特性や行動に焦点を当てます。これらのスキルの中には、すでにMIの実践の中心となっているもの（共感性）もあれば、MIの視点ではほとんど議論されたことのないもの（真正性）もあります。

・誰が参加すべきか？

このワークショップは、MIの基本的な知識を前提としていますが、探求されるスキルは、他の多くのアプローチにも使用できます。

・どのようなことを学ぶのか？

新刊「Effective Psychotherapists: Clinical Skills That Improve Client Outcomes」(効果的な心理療法士：クライアントのアウトカムを向上させる臨床スキル) (ミラー&モイヤーズ著)からの抜粋です。学習目標は以下の通りです。

- 1) 治療法を問わず、クライアントのアウトカムを向上させるセラピストの対人スキルを8つ挙げることができる。
- 2) クライアントのアウトカムに関連したセラピストのスキルを裏付ける研究を少なくとも2つ挙げることができる。
- 3) クライアントのアウトカムを改善するために、特定の技術に加えて一般的なスキルに焦点を当てる理由を1つ述べるができる。
- 4) 参加者は、これまでMIに関連していなかったが、研究者の間で注目されているスキルを1つ挙げることができる。

・教材はどのように提示されるのか？

このワークショップでは、講義資料、ロールプレイ演習、ビデオやオーディオの例、デモンストレーションが行われます。

・単位数

3単位 (1級2級共通)

博士の研究は、治療的スキルのトレーニングと、治療結果と動機づけ面接の間の因果関係を明らかにすることが中心です。彼女と研究チームは、MITI (Motivational Interviewing Treatment Integrity Coding System)を開発しました。また、MI第3版のためのDVDシリーズ (Miller, Moyers & Rollnick, 2012) のプロデューサーであり、「Effective Psychotherapists: Clinical Skills That Improve Client Outcomes」の共著者でもあります。

* 1級技能検定も同時募集。詳細はHPを御確認ください。